

CASE 反復性うつの女性（2回目のセッション／12月初旬）

RX：11月10日11日12日と飲んだ。

Q．調子はどうですか？

12日：風邪で熱っぽい。頭痛。横になりすぐに楽になる。

12日：便秘気味・・・過去に旅行に行った時、緊張した時、必ず便秘。

腰痛：和らいだ。

背骨に沿った痛み：一旦痛みが強くなり、楽になって来た。

左手の中心：鈍痛が起きて、震えが改善。

頭部：脳がグニュグニュと動く感じ。9月に断薬した時と同じ症状。頭皮が引っ張られるような、チクチクするような、焼けるような、熱いような感じ。

不眠：一番気になっていた不眠は改善していき、よく眠れるようになった。

ところが、12月3日に、父に対して、私が怒った。

以前、父の会社の人、母の着物を欲しがっていると言ったので、私は駄目だと言った。それがないので、父に聞くと、おばさんが持っていったと言った。よく確かめると嘘と分かった。

こういうパターンで、父への私の怒りは出てくる。

Q．その怒りについて教えてください？

今年の夏くらいから、自分に破壊的な動きが出て来ていた。家に火を付けたくなる。滅茶苦茶に壊してやろうとかいうもの。そして、そう考える自分が怖い。この時は、ワイングラスを一つ割って終了。その破片を眺めている自分。これで手首を切ったら楽かな？とか、そして、夜中に刃物を見ている自分。

Q．夏以降、他には変化の自覚は？

思考力が衰えている。車が来るとどちらに避けたら良いのか分からない。判断に時間が掛かる。そして、人にぶつかったりする。薬の影響かと思う。（一番強力な睡眠剤と抗うつ剤を飲んでいたので？）

Q．12月3日以降について教えてください？

3日から8日まで、引きこもり、うつ状態。

9歳くらいの母がいた頃を思い出していた。食事風景や料理をしている場面。当時、小学校が嫌だったことを思い出していた。嫌いというよりは、面倒臭いと思っていた。

引きこもった後は、助けてくれそうな人に取り入ろうとしていた。

その後、おばさんに「家のことは全てしています」と連絡した。

今の家を出たいから、計算をしている自分が嫌になる。

Q. 包丁について教えて下さい？

今は冷静に見ている。自分に向ける可能性がある。でも、人に向けることはない。今は、嫌になってしまって先の見通しも暗い。アルバイトを一ヶ月してみたが、頭がついていかない。頂いたレメディを詳しく調べた。本も読んだ。そこに書いてあったのは、「破壊そして自殺傾向、真面目で責任感が強い良い人」なので「私とは違う」と思った。

Q. どう違うんですか？

私はいいい人ではなく、利己的です。自分の興味のあることはするが、他の事はしません。だから、サルファーが近いと思う。
なまけもので、何事にも取り掛かれない所が自分に似ていると思った。

Q. アルバイトを辞める理由は何ですか？

自分のプライドが高すぎたと思う。
ちゃんとできない自分が許せなくて、そこからは逃げたい。

Q. 身体症状はどう変化していますか？

・胃の痛みのキリキリは？
ありません。

Q. 皮膚の色はどうですか？

多少白くなってきた気がします。

Q. 舌の色はどうですか？

赤みが引いてきました。

Q. 腰痛は？

良くなっています。

Q. 頻脈は？

安定しています。

Q. めまいは？

今はありません。

Q. 他に何かありますか？

自分は良い人に見られたいから、それにこだわるとわかりました。

だから、他人の評価に敏感だと思います。
でも、レメディを飲んでから周りの人が皆敵に見えてきました。

Q. それについて、もう少し教えて下さい？
普通に話をしているのに、攻撃されているかのような気がする。
例えば弟は、母の死以来、仮面を被っていったように感じる。
元々彼はシャイでおとなしいところが、急に社交的に変化した。そのことが「仮面」に見える。
私の怒りは、特に父に対して強く、兄にも向いている。
この家には駄目だとは分かっているが、今の自分はどこに行っても、自分自身が悪い環境を作ってしまうような気がする。
この性格では、どこに行っても駄目ですね・・・

Q. 他に何かありますか？
はい。
赤面症は7、8歳から始まったことを思い出しました。
また、PTSDもあることに気が付きました。
今年の夏、阪神大震災等強烈な過去がフラッシュバックした。その時怖いことがあった。自分がまるで崖っぷちに追い詰められたような恐怖を感じた。
その時「安全な場所に行かなければ行けない」と思った。
この感じは10年前（母が亡くなってすぐ）にもあった。
家に帰るのが怖かった。家族が怖かった。特に父と兄が怖かった。誰にも話せない。
自分を守るために寝る時に枕元に包丁を置いていた。
今は、家を出る方向で考えています。
おばさんのところでは、足がついてしまう。いつか連れて帰られそうな気がする。
それが怖い。

Q. 何がそんなに怖いのですか？
父は、自分の中の「あるべき父親像」とあまりにも違う。
そんなに素晴らしい父が居るはずがないのに、わかっているけど、腹が立つ。
母のことについても、もうちょっとしっかりしてくれていたら、死ななくて済んだかもしれない。
これまで自分が会社を辞めた理由も「これこれするべきなのに」という気持ちで気に入らなくて辞めている。

（2回目のセッション終了）